

# 会員の皆様へ

名教就美会

会長 永井孝雄

(昭和49年金属卒)



## 1. はじめに

2023年5月に新型コロナCOVID19は第5類になりました。その後は堰を切ったように人の往来や外食需要が回復しておりますが、ITソフトウェア業界では在宅勤務が定着し、オフィス面積などを見直す会社が増えております。特に顕著なのは打ち合わせやセミナーの類は、ZOOMやTEAMS等オンラインでの開催が継続されています。対面に比べ時間と交通費の面で優位性が認められるからですが、その反面懇親会のように多くの会話が同時に発生するような局面はうまく中継する事は苦手です。同窓会は学生や大学支援の機能と同窓生への情報発信と親睦を図る機能がありますので、オンラインと対面を上手に使いこなす事が必要になりますが、ハイブリッド開催についても今後導入を検討していこうと思います。

## 2. 創基150周年・開学75周年記念募金事業について

1874年（明治7年）に4か所に設置された小学校教員養成所を合併し、1876年横浜師範学校が発足しました。その後1920年に横浜高等工業学校、1923年に横浜高等商業学校が設置されました。そして1949年に統合され横浜国立大学となりました。従って来年2024年に創基150年を迎える事になります。次の世紀に向けた大学の目指すビジョンとテーマは次の通りです。

- ①世界水準の研究大学を目指す ➡ 世界水準の研究力で安心安全な社会を実現する
- ②地域の様々な機関と連携して未来を創る ➡ 新たなまちづくりと未来創成に貢献する
- ③世界で活躍できる優秀な人材を輩出する ➡ 学生の意欲と熱意に応える

大学としてこれらのビジョンとテーマ実現の為、5年間、総額5億円の寄付を募っていますので、会員の皆様には1口＝1万円～の寄付をお願いできればと思います。

これから起きるであろうと予想される大きな出来事は大学の再編です。名古屋大と岐阜大、東工大と医科歯科大の経営統合・合併等がその表れです。ビジョンを実現して母校横浜国大が勝残るために多くの会員からの寄付をお願いいたします。

## 3. 日本の産業競争力復活に向けて

1995年の「フォーチュン・グローバル500」には日本企業が149社ランク入りしていましたが、2023年には41社に減少しています。米国の151社に続いて日本の149社がランク入りした時中国企業はわずか3社でしたが、2020年には124社に達しトップに立ち、以降2023年も142社とトップの座を守っています。日本企業の多くを駆逐し、日本の得意分野すら脅かしています。

過去10年間、日本の経済成長率はわずか5.3%でした。同期間に米国は23%、中国は83%も成長しました。この間欧米では着実に物価と所得が上昇し続け世界で高水準だった日本の賃金は2021年にはOECD34カ国中24位、今の為替を適用すると28位に低下すると言われていました。この企業収益の衰退と賃金水準低下は、デフレと為替が大きな要因となっています。デフレ経済下では物が売れず企業の売上げが伸びず、さらに円安でドル換算売上げが減少するダブルパンチに見舞われます。これを放置すれば日本の資産や企業は外国に買収されてしまいます。これは避けなければならないと思います。幸か不幸か今日本の物価が猛烈な勢いで上昇に転じたのでいずれ中小企業の賃金も後追いで上昇するでしょう。そのためには「量産品の価格は下がるのが当然、価格UPには性能向上や新機能追加した新製品が必要」との文化も見直さなければならないと思います。

円安を止める方策は何でしょうか？ 簡単に言えばかつて1960年代から1980年代にかけて日本企業が猛烈に輸出攻勢をかけた時の状態をほんの少し再現すれば、自然に為替は円高に動くはずで、労働コストと為替が有利な状況の今、政府の国内生産増&輸出優遇政策があれば、再び輸出超過国になるのはたやすいはずで。

#### 4. 名教就美会の1年を振り返って

1月に就職希望者への模擬面接会をZOOMで開催しました。名教就美会から3人のOBが模擬面接官として参加してくれました。

12月～2月にかけて、OB/OG懇談会を就職希望者のために開催しました。78社からOB/OG来校し就職希望者に企業紹介をしてくれました。研究室の院生や教官の皆様に感謝します。

4月の新入生オリエンテーションと保護者会で同窓会紹介を行いました。

6月には崎陽軒で対面の総会を開催しました。日本の半導体産業特集としてSUMCOの橋本会長とコマツ帯金執行役員、ギガフォトン鈴木執行役員から講演をいただきました。

9月には対面でブラッシュアップ研修会を開催し、福田東海大教授、佐藤横国大教授から講演をいただきました。

10月には5月から延期された横浜港ナイトクルーズが3同窓会と校友会で開催され、170名余の学生が乗船し2時間のクルーズを楽しみました。90名の理工系学生（内名教就美会から15名）の参加があり、海からのみなどみらいの夜景や本牧ふ頭のコンテナ積み下ろし用ガントリークレーン（通称キリン）の働く姿を見ることができました。



海から見たみなとみらい



照明をつけコンテナの積み込みをするキリン

#### 【5. プラウド卒業生荒牧寅雄氏について】

2023年度のプラウド卒業生には名教就美会会員の故荒牧寅雄氏が選出されました。

元いすゞ自動車の社長・会長を務められた荒牧氏のご紹介は、別途詳しくなされると思いますのでここでは簡単に触れておきます。荒牧氏は1926年横浜高等工業学校機械工学科卒業後、東大工学部助手を経て1928年石川島造船所に入社、自動車部に配属されました。その後自動車部はヂーゼル自動車工業、いすゞ自動車となり、1970年代表取締役社長、1976年会長、1980年相談役を歴任され、この間米国のゼネラルモーターズとの提携を実現し、業績改善に大きな役割を果たされました。その一方で、公益社団法人自動車技術会の設立にも尽力され、1962年には会長に就任され、自動車業界の技術向上や競争力強化等社会貢献を行われた方でした。

#### 6. 来年度の抱負

理工系卒業生の地域同総会として、近畿同窓会、東海同窓会、静岡中部同窓会がありますが、コロナ禍によりいずれの会も総会が中止になったり、Web会議等オンライン形式にしたり苦労していました。ようやく今年から各総会への来賓招待も対面で再開されるとの情報が寄せられており、久しぶりの再会を楽しみにしております。 (令和5年11月5日記)